所属：沼津工業高等専門学校・教養科

研究タイトル：中国・魏晋南北朝隋唐時代における軍事と外交に関する研究



氏名：	平田陽一郎／HIRATA Yoichiro	E-mail：	y-hira@numazu-ct.ac.jp
職名：	教授	学位：	博士（文学）
所属学会・協会：	史学会，東洋史研究会，魏晋南北朝史研究会，唐代史研究会等		
キーワード：	古代中国，東アジア，東部ユーラシア，軍事制度史，外交交流史		
技術相談 提供可能技術：	・一般的な高校世界史の講義が可能。 ・中国古代史に関しては、漢文原典史料の読解を含めた専門的な講義をすることもできる。 ・初級中国語や時事問題（現代中国の抱える諸問題）、また郷土の歴史についても、授業や公開講座において初歩的な内容の講義をしている。		

研究内容：中国・北朝隋唐期における対外統治システムとしてみた「府兵制」の展開

技術分野：歴史学（アジア史・中国史）

私の研究対象は、370 年におよぶ魏晋南北朝の分裂時代を乗り越えて、320 年にわたる統一時代を現出した隋唐期の中国です。時は日本でも人気の三国志の英雄達が活躍したころまでさかのぼりますが、邪馬台国の女王卑弥呼や遣隋使・遣唐使等の活動を通じて、日本が中国と積極的に交流を持ち、その影響を強く受けつつ、自らの国家や社会を形成していったのがこの時代です。

隋唐世界帝国と称され、日本の政治・社会・文化にも極めて大きな影響を与えた、この中国史の黄金時代がいかにして到来したのかを、教科書にも出てくる「府兵制」という軍事制度や外交関係の展開から解明することを目指しつつ、当時の国際社会における日中関係の位置づけ等についても考察し、一般向けの書籍も執筆・刊行しています。



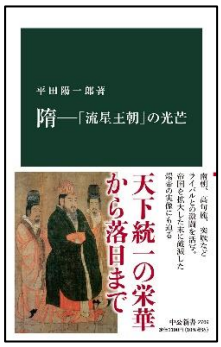
プロジェクタを使った歴史の授業



アジア各国からの留学生への講義



中国古城址調査



中公新書 2023 年

研究者 PR・自己紹介

「世界の工場」「世界の市場」として発展を続け、いまや世界経済の要となった中国。その中国と日本の科学技術分野での連携は、2 国間の問題にとどまらない世界的な重要性を持っており、今後一層発展させていかなければならないでしょう。両国にはすでに 2000 年におよぶ交流の歴史がありますが、将来の関係もその地平に切り開かれるべきものです。すでに「歴史認識」「領土問題」などの懸案事項が山積みですが、さらに相互の無理解・無関心がそれを助長すれば、両国の未来に暗い影を落とす恐れがあります。このような観点から、国際的に活躍する日本人技術者の持つべき素養の1つとして、中国の歴史と文化に関する知識を提供すべく、自身の研究と学生への講義に取り組んでいます。

提供可能な設備・機器：

名称・型番（メーカー）	